

<スクールアルバム>

特別授業（デンマーク体操）で、のびのび



オープンスクールでは初めてのお友達と学びました



ペアレンツデー 高等部の手作りカレーを親子で囲み、子ども達はそれぞれにプレゼントを手渡しました。



水再生センター見学
説明員の方のお話に興味津々！



お願い・ご報告

- 6月の行事は守られ、祝福されました。皆さまのお祈り、ご協力に感謝いたします。
- 6月10日（月）より、MSくん（小3）が入学しました。よろしくお祈りいたします。
- 本郷台キリスト教会主催のJJCヒーローオリンピックキャンプ（小学生対象）8月1日（木）～3日（土）、ユースキャンプ（中高生対象）8月5日（月）～7日（水）に積極的に参加してください。
- 8月10日（土）～19日（月）、本郷台キリスト教会主催の能登・石巻宣教旅行が行われます。本校からもスタッフ、中高生有志が参加します。祝福をお祈りください。
- 9月（10月前半まで）のスケジュールをご確認ください。（下校時刻をご確認ください）
2日（月）授業・昼食開始（1限 HR 2～4限 通常授業 13時40分下校）
26日（木）6限授業 *金の6限を実施（小2-14時25分、小3以上-15時50分下校）
27日（金）5限授業（全校14時30分下校）
30日（月）～10月1日（火） 4限授業・昼食あり（13時50分下校）
10月2日（水） 4限授業・昼食あり（13時30分下校）
10月3日（木）～11日（金） 3限授業 昼食あり（12時50分下校）

今月のみことば（暗唱聖句）

「神の大能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力が、どれほど偉大なものであるかを、知ることができますように。」エペソ 1:19

“what is the exceeding greatness of His power toward us who believe, according to the working of His mighty power.” Ephesians 1:19

祈禱課題

1. スクール関係者すべてのご家族の上に主の愛と平和が満ち溢れますように。
2. スタッフ一人ひとりが主からの知恵と愛をいただき、授業を準備していけるように。
3. 夏休み生徒一人ひとりの健康が支えられ、良い生活習慣の中、神に日々感謝できるように。
4. スタッフの研修が祝福されるように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 7月号

2024.July. 1

VOI.204

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「神さまと共に歩む」

中高副担任 廣瀬祥史

「これはノアの歴史である。ノアは正しい人で、彼の世代の中にあって全き人であった。ノアは神とともに歩んだ。」(創世記6章9節)

ノアは、神様から箱舟を作りなさい、という使命を与えられて箱舟を作りました。しかし、ノアが神様から与えられた使命は、自分の力やこれまでの経験では達成することのできない困難なものでした。ノアは、建築の専門家でもないのに、長さ約150m、幅約20m、高さ約15mの3階建ての建物のような箱舟を作りなさい、と神様から言われたのです。

私たちも、ノアと同じように、神様から使命を与えられているのではないのでしょうか？保護者の皆さんは、神様から子どもが与えられ、子どもを愛し育てるようという使命が与えられています。また、子どもたちは、神様から毎日様々な挑戦を与えられ、葛藤をしながら、学校生活を送っています。クラスメートとのコミュニケーションが上手くいかずに悩んだり、学びの内容が理解できずに、投げ出してしまいそうになったりします。そのようにして、私たちが神様から与えられる使命は、自分の力では達成することのできない困難なものであることが多くあると思います。そして、それは、時に戸惑いを覚え、そのようなことはできないとあきらめてしまいそうになります。でも、ノアは、あきらめることなく、箱舟を作ることができました。それはどうしてでしょうか？ノアは、きっと、困難に直面するたびに、神様に祈り続けたのだと思います。箱舟を作るためにどうやって組み立てていったら良いのか？と具体的に方法を聞いたかもしれません。私が箱舟を作っていることに対して、妻と子どもたちが全く理解してくれないから助けてください！と助けを求めたかもしれません。私に箱舟を完成することができるように必要な知識を与えてください！と願い求めたかもしれません。

神様はノアの祈りを聞いてくださり、祈りに応えてくださいました。ノアは、自分の力や能力だけに頼るのではなく、神様に信頼していました。こうして、箱舟は無事に完成することができました。そして、神様はノアとの間に、地上の生き物を滅ぼさないという約束の虹を立ててくださったのです。そのようにして、神様は、大きな祝福と恵みを与えてくださいました。

私は、スクールの名前の中に「のあ」とあるのは、本当に素敵なことだと思われています。スクールの生徒たちや先生たちと一緒に、聖書を通して神様の語ることを聞き、神様にお祈りする姿は、ノアの姿そのものだと思います。私も、ノアの姿を思い浮かべながら、神様に信頼して、神様から与えられている使命を果たしていくことができればと思います。神様は、私たちに「わたしの目には、あなたは高価で尊い」と語りかけてくださり、どのような時であっても、私たちのことを愛し続けてくださるお方です。神様からの大きな祝福と恵みが満ちあふれることに期待して、皆さんと共に歩んでいきたいと思っています。

7月のカレンダー

日	月	火	水
	1日	2日	3日 合同礼拝（1限）
7日 スポーツフェスティバル @野七里（15時～17時） Hさん誕生日	8日 中高生 10時30分登校	9日	10日 Y先生誕生日
14日	15日 海の日 Aさん誕生日	16日 通常授業終了	17日 ← ← ← スクール1 泊リトリート(小5以上) ← 特別授業(小1～4 クリスタルチャペル)
21日	22日 ← 夏休み(22日～8月31日)	23日	24日 矢島幼稚園夏祭り出店
28日	29日	30日	31日
T先生誕生日	I先生誕生日		D先生誕生日

- ・7日（日）15時～17時、野七里グラウンドにて、スポーツフェスティバル（エスペランサスポーツクラブ主催）を行われます。中学生以上は奉仕します。集合は14時30分、解散は18時です。小学生は、ぜひ、家族や知人と一緒に参加しましょう。なお、中高生は、翌8日（月）は、10時30分登校、朝の会を行い、3限から通常授業となります。
- ・17日（水）～19日（金）は、特別学習期間になります。
- ・17日（水）～18日（木）、小5以上は、ダイヤモンドチャペルにてスクール1泊リトリートを行います。詳細は、担任よりご連絡しますので、確認をお願いします。また、小1～4は、クリスタルチャペルにて特別授業を実施します。昼食ありで、下校は14時です。
- ・19日（金）は、特別授業です。昼食なしで、下校は12時20分です。
- ・20日（土）9時～10時15分、保護者・スタッフ清掃を行います。日常の清掃では行き届かないところをスタッフ・保護者の皆さんで掃除します。また、引き続き10時30分～12時、保護者会を行います。月井校長より、性教育についてお話があります。保護者の皆さんは、ご参加くださるよう、ご協力をお願いします。
- ・22日（月）～8月31日（土）は夏休みです。規則正しい生活を心がけ、健康に留意して、有意義に過ごしてください。夏休み中は、毎日、聖書のことばに触れること、祈ることを大切に、本郷台キリスト教会でも様々なイベントがありますので、積極的に参加してください。（授業・昼食開始は9月2日（月）です。）
- ・24日（水）、矢島幼稚園で行われる夏祭りに、のあISから出店します。生徒・スタッフ・保護者で参加します。詳細は、後日ご連絡しますので、ご協力をお願いします。収益は、スクールの運営に用いさせていただきます。
- ・8月28日（水）～30日（金）、中学生以上の在校生（希望者）対象に修学旅行（名古屋・伊勢方面）を行います。生徒・スタッフ12名で出かけます。祝福をお祈りください。
- ・7月中に、個人面談を予定しています。日程は、各学部よりご連絡し、各ご家庭のご都合を伺い、調整をした後、担任からご連絡いたします。
- ・保護者、スタッフ向けバイブルタイムを毎週木曜日に行っています。子ども達が日々恵みを受けている聖書の言葉を一緒に味わっていきましょう。初めての方も大歓迎です。4日（木）、11日（木）の13時15分～、場所はのあIS B教室です。鈴木まで問い合わせください。

木	金	土
4日	5日 委員会活動（6限）	6日
11日	12日 クラブ活動（6限）	13日
18日 特別学習期間 ダイヤモンドチャペル泊 昼食あり 下校 14時 Sさん誕生日	19日 特別授業（昼食なし 12時20分下校） 岩村先生誕生日	20日 保護者・スタッフ清掃 （9時～10時15分） 保護者会（10時30分～12時）
25日	26日 H先生誕生日	27日
夏休み（～8月31日）9月2日（月）授業・昼食開始 （8/28～8/30 修学旅行（中学生以上の希望者））		



子育てnote

「心の傷の連鎖」

“あなたの父と母を敬いなさい。…そうすれば、あなたは幸せになる。” エペソ6章2,3節

私たちの心は、その成長過程における様々な出来事を通して、しばしば傷つきます。その心の傷というのは、往々にして、自分の父親や母親との関係であったり、兄弟や姉妹との関係であったり、また、学校の先生のような、自分の生活に深く関わってくる人たちから受ける傷です。特に親子関係において受ける傷は、そのケースにおいて圧倒的であり、その傷も一生を通して抱えるものとなってしまうことが多いです。そのような傷は、しばしば親の離婚問題からであったり、悪い夫婦関係にある親の争いからくる「とぼっち」であったり、片親の偏愛から来るもう一方の親への不信感からであったりします。

傷には痛みが伴います。それらの傷が癒されることなく親になってしまうと、その傷からくる痛みを知らず知らずのうちに発散しつつ、子育てをすることになります。すると、その子どもが傷つきます。ですから、特に離婚を経てきた家庭は、気をつけなければなりません。というのは、離婚家庭の子どもたちは、傷ついた親によって自分も傷つけられ、彼らも生きづらい人生を生きることになりかねないからです。親となった方々は、自分自身の親との関係を、是非もう一度振り返ってみてください。もしも、ご自身のいずれかの親を、苦い思い出とともに思い出すならば、まだあなたの傷は癒されていません。「敬えるような親だったら、私はとっくに敬っている…」と言いたくなる方は、ぜひ、ご自身の心の癒しと取り組まれることをお勧めします。そのような傷から癒されることが可能です。私たちが、そのような傷から癒されるためにこそ、キリストは私たちのために十字架にかかってくださいました。もし、自分の、心の傷の癒しに進みたいと思われる方は、私が主催している「心のサプリ」や「祈りのミニストリースクール」に参加してみてください。

“彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷のゆえに、私たちは癒された。”

イザヤ書 53章 5節

校長 月井博

